

公益財団法人仁科記念財団
第37回理事会議事録

1. 日時 令和3年10月22日(金曜日) 17時30分~18時00分

2. 形式 WEB会議 (Zoomによる)

3. 出席 総数10名 (理事現在数11名)

出席理事:

安藤恒也 家 泰弘 伊藤公孝 上養義朋 梶田隆章

小林 誠 十倉好紀 永宮正治 藤川和男 矢野安重

以上10名

出席監事:

荒船次郎 鈴木増雄

以上2名

出席選考委員:

安藤恒也 (委員長)

以上1名

4. 議事の経過と結果

第37回理事会をWEB会議として開始するにあつて、出席(参加)理事、監事、仁科記念賞選考委員長、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林理事長が議長となり、出席理事数が定款第37条3項に定める定足数6名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 議長報告

議案審議に先立って、定款第28条第4項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

(2) 議案審議

第1号議案: 令和3年度仁科記念賞決定の件

議事に先立って安藤恒也仁科記念賞選考委員長より「令和3年度は25件の推薦があり、慎重に審議した結果、①有馬孝尚 東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授 および 木村剛 東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授 『スピン誘起マルチフェロイクスの発見と開拓』 ②宮崎聡 自然科学研

究機構国立天文台・教授 『すばる望遠鏡広視野カメラの開発による観測的宇宙論の展開』 ③瀧田正人 東京大学宇宙線研究所・教授 『サブ PeV ガンマ線天文学の創始と銀河宇宙線の起源の解明』 の 3 件を受賞者としていた旨報告があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第 6 条第 2 項に従い、選考委員会提案通り令和 3 年度仁科記念賞受賞者を決定した。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第 40 条に則り理事長のほか荒船、鈴木両監事とすることとした後、議長は本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和 3 年 10 月 22 日
公益財団法人仁科記念財団 第 37 回 理事会

理 事 長

小林 誠
小 林



監 事

荒船 次郎
荒 船 次 郎



監 事

鈴木 増雄
鈴 木 増 雄



本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名
公益財団法人仁科記念財団 常務理事 矢野安重